

大和市との関わり

大和市内に拠点がある三機工業。実は大和市とたくさんの結びつきがあります。表紙の写真はすべて、その結びつきに関わりのあるものです。

災害時の施設提供の協定



大規模災害時に帰宅困難になった人を、必要に応じてテクノセンターに受け入れる協定を市と結んでいます。施設内には100人が3日間待機できる水と食料を確保しているほか、地域のかたも利用できる災害時利用井戸を環境園に設置しています。また、全国から集結する緊急消防援助隊の応援活動拠点として、隊員の宿泊場所などに活用する協定も締結しています。

三機MIRAスポーツセンター大和

4月から、三機工業が大和スポーツセンターのネーミングライツスポンサーになり、施設全体の愛称が「三機MIRAアーススポーツセンター大和」となりました。同センターでは、4月に「三機工業DAY」として大和シルフィードの冠マッチが開催され、会場は大いに盛り上がりしました。



ネーミングライツ看板の除幕式

図書自動返却仕分機

工場や空港のベルトコンベアを作っている技術を生かし、シリウスの図書自動返却仕分機がオーダーメイドで作られました。返却口で、本に貼り付けられたICタグが読み取られ、ベルトコンベアで1日に約2,000冊の本が仕分けされています。



大和シルフィード

大和市のホームタウンチームに認定されている「大和シルフィード」。三機工業はシルフィードの活動を、平成30年度からメインスポンサーとして応援しています。チームのユニフォームには「三機工業」のロゴが掲出されています。

社長インタビュー



代表取締役社長
名古屋和宏さん

地域貢献への思い

三機テクノセンターは、社員の研修や最新技術の研究開発を担う、三機工業の「心臓部」とも言える中核拠点です。昭和37年以来、60年以上にわたり地域に育てていただいた企業として、その恩返しを形にしたい、市とともに発展し、未来を築いていきたいという願いが地域貢献活動の出発点になっています。大和市なくして、今の三機工業はありません。

地域の皆様へ

「三機MIRAアーススポーツセンター大和」という愛称には、市の未来を地域の皆様とともに切り開いていきたいという願いを込めています。三機工業はこれからも、「大和市とともにある企業」であり続けます。地域の皆様が安心・安全に暮らせる環境作りに貢献し、市民の皆様とのつながりをさらに深めながら、今後もさまざまな面から地域に貢献してまいりたいと考えております。

南極での観測も支える 三機工業

南極地域観測隊として昭和基地に送り出されるのは、毎年数十人程度。限られた人数で過酷な環境の中で観測するため、隊員には高度な専門性や柔軟性が求められます。三機工業から長年、国立極地研究所に技術者が出向しています。技術者は同隊員として、空調や水をきれいにする装置やごみの処理施設などを維持・管理して、基地と南極の環境を守っています。



写真提供：国立極地研究所

読者プレゼント

日本科学未来館（東京都江東区）で9月27日（日）まで開催中の特別展「大南極展」の鑑賞券を10枚ご提供いただきました。三機工業も南極観測応援隊エリアにブースを出展。応募方法など、詳しくは市のホームページをごらんください。

申し込み▶8月15日（土）までに、市LINE公式アカウントから。

